

# TRI GROUP

## 2013年度決算 決算説明資料

---

**東海ゴム工業株式会社**

# TRIグループ 2013年度 業績

TOKAI RUBBER INDUSTRIES, LTD.



## ①経済情勢

欧米

米国は雇用改善や金利低下などにより景気が緩やかに拡大  
欧州は一部に回復の兆しがあるものの、債務危機に伴う景気低迷から依然脱却できず

日本

国内経済は金融緩和政策による円安・株高により、企業生産や個人消費が回復

新興国

中国経済は、年度前半にやや好転したものの後半に減速  
その他の新興国では、政策金利引き上げなどの影響で総じて経済成長スピード鈍化

## ②事業環境

自動車用品  
部門

海外は米国、中国を中心に自動車生産台数は増加基調  
国内は「エコカー補助金」終了の反動はあったものの、個人消費改善に加えて消費税増税前の駆け込み需要が追い風に

一般  
産業用品  
部門

プリンター向け機能部品の客先需要は依然本格回復までは至らず  
建設・土木機械向け高圧ホースは、中国での販売が好転し、国内市場も緩やかに回復  
住宅向け制震デバイスは、地震対策意識の高まりで需要拡大

原料価格

天然ゴムは値下がり、合成ゴムはナフサ連動で上昇

為替

対ドル円安が進むも100円/ドルで一服

(金額:億円)	12年度	13年度	13年度	前年比		中間予想比
	実績	中間予想	実績	増減	増減率	
既存	2,637	2,970	2,999	+361	+13.7%	+29
M&A	-	680	692	+692	-	+12
売上高	2,637	3,650	3,691	+1,054	+40.0%	+41
営業利益	3.5% 92	3.6% 130	3.7% 136	+44	+47.5%	+6
経常利益	3.5% 92	2.9% 105	3.0% 110	+18	+19.7%	+5
特別損益	△11	25	11	+22	-	-14
当期利益	1.1% 30	1.1% 40	1.1% 41	+11	+35.7%	+1

為替レート(円/\$)

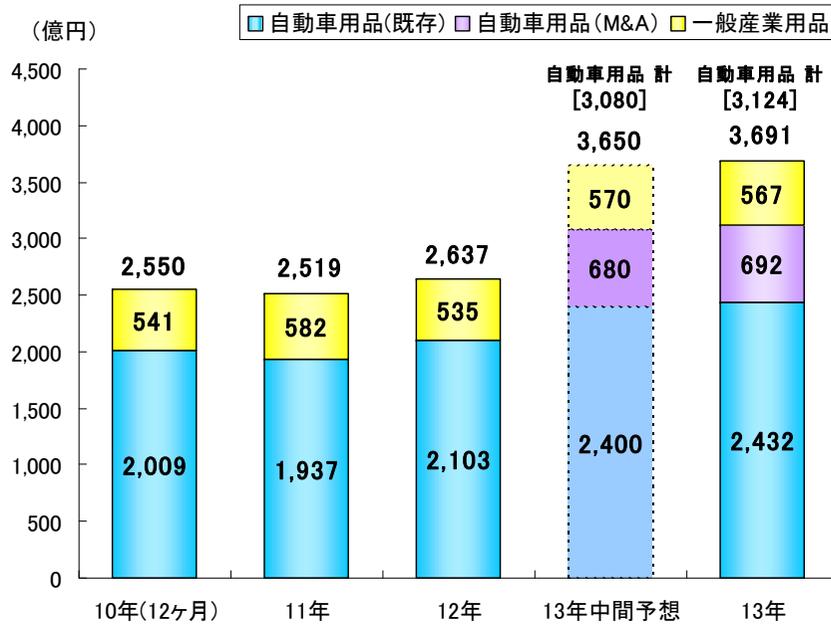
<83.11>

<98.43>

<100.24>

<17.13円安>

## 売上高



## 13年度セグメント別概況

### 【自動車用品部門】

[前年比: 増収増益]

[中間予想比: 増収増益]

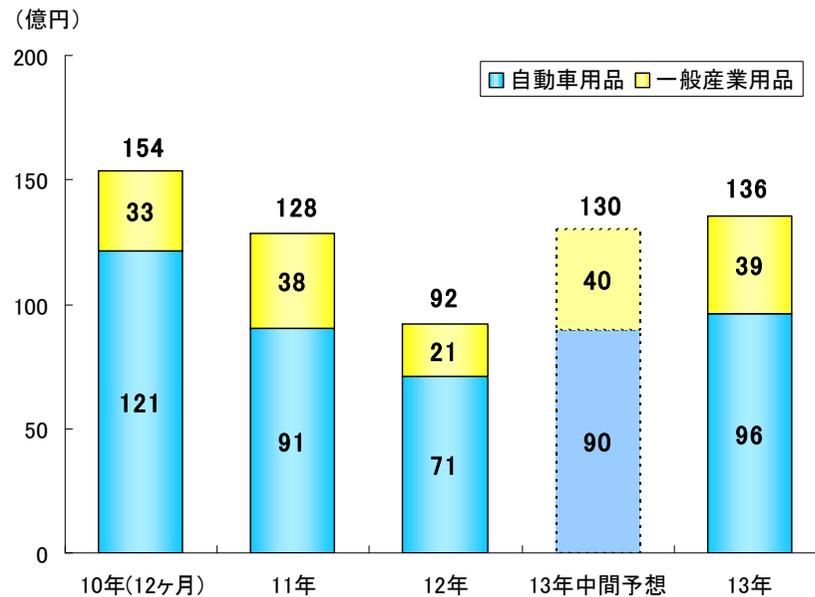
### 既存事業

- 日本、米国及び中国の自動車生産台数増加により、販売が好調

### M&A会社

- 南米の自動車生産台数が低迷
- M&A会社2社は、決算期変更により3ヶ月分の業績が追加で上乗せ

## 営業利益



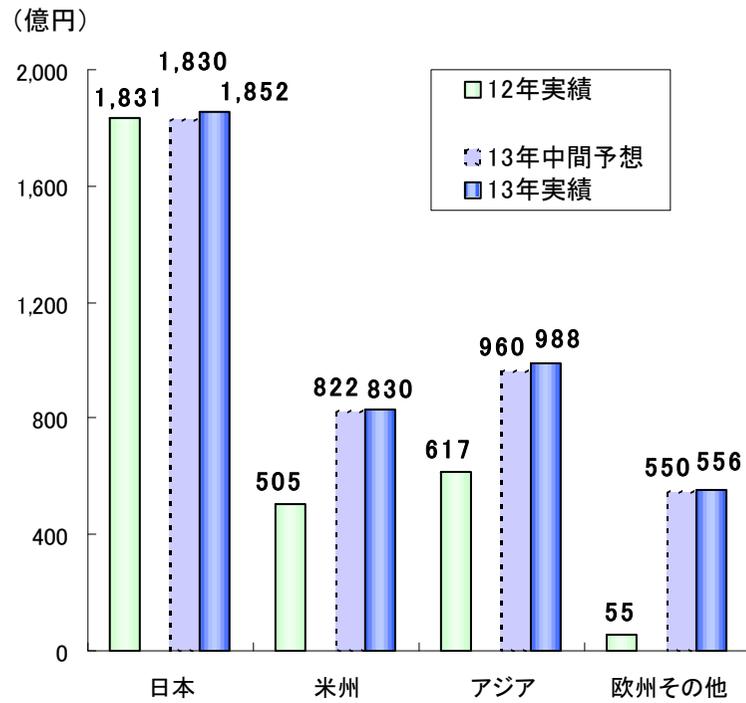
### 【一般産業用品部門】

[前年比: 増収増益]

[中間予想比: 減収減益]

- プリンター向け機能部品は、客先需要の回復が緩慢
- 建設・土木機械向け高圧ホースは日本、中国で需要が回復
- 住宅向け制震デバイスは国内販売が堅調

## 売上高

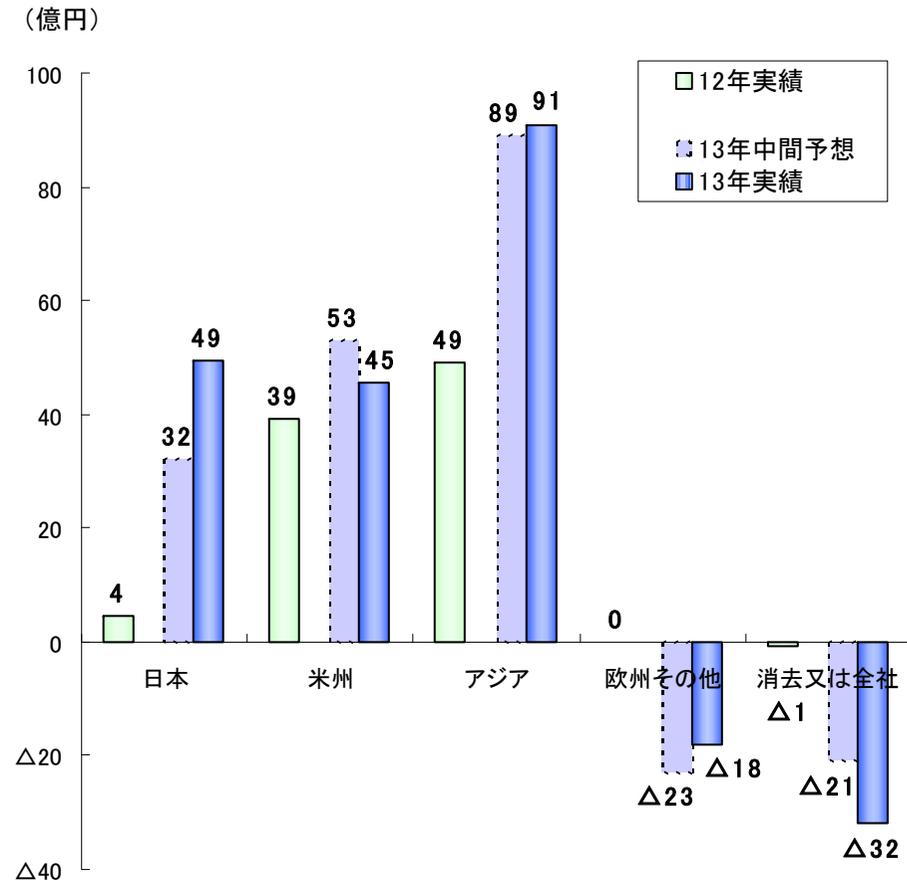


### <売上高構成比>

	日本	米州	アジア	欧州その他
12年実績	61%	17%	21%	2%
13年中間予想	44%	20%	23%	13%
13年実績	44%	20%	23%	13%

※地域間消去前

## 営業利益

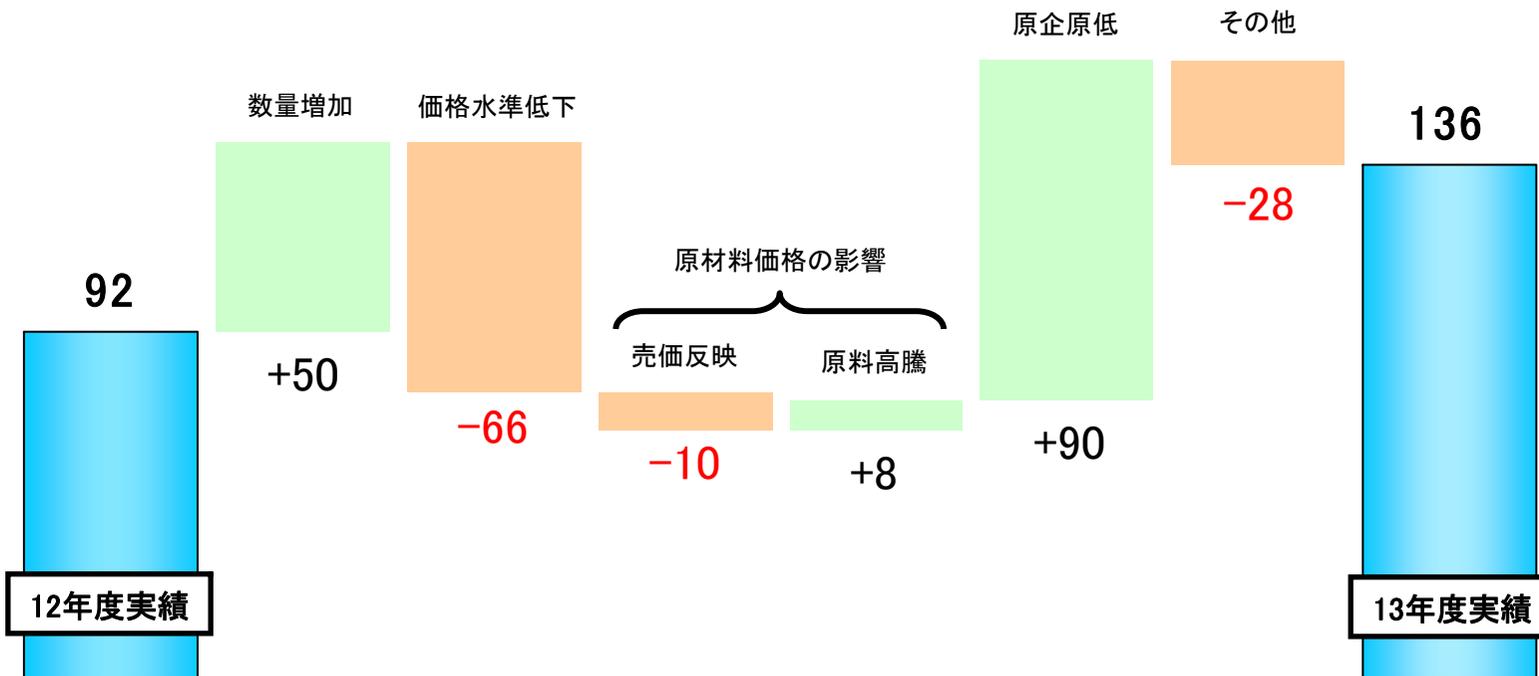


### <営業利益率>

	日本	米州	アジア	欧州その他
12年実績	0.2%	7.8%	7.9%	0.0%
13年中間予想	1.7%	6.4%	9.3%	△4.2%
13年実績	2.7%	5.5%	9.2%	△3.3%

前年比

(単位:億円)



※数量増加、価格水準低下、原材料価格の影響、及び原企原低は既存事業のみの数値。

# TRIグループ 2014年度 見通し

TOKAI RUBBER INDUSTRIES, LTD.



## ①経済情勢

欧米	米国は堅調、欧州は景気底打ちの兆しが見えるが依然として低水準継続
日本	消費税増税前の駆け込み需要の反動で個人消費は伸び悩み、企業業績の回復も一服
新興国	中国経済は、不動産投資の落ち込みなどのためやや減速 その他の新興国でも経済成長スピード鈍化が続く

## ②事業環境

自動車用品 部門	国内自動車生産は、消費税増税前の駆け込み需要から反動減 日系自動車メーカーの海外生産は、13年度と同様、米国と中国で伸長 当社主要顧客の欧州系自動車メーカーの生産は、南米で減少が続く
一般 産業用品 部門	プリンター向け機能部品は、客先需要が緩やかに回復 建設・土木機械向け高圧ホースは、国内・海外ともに13年度からの市場拡大が継続 住宅向け制震デバイスは、住宅着工が減少する一方、地震対策ニーズで搭載率が上昇
原料価格	天然ゴムは前期比で下落、合成ゴムは上昇基調
為替	ほぼ前年並みを予想



# 2014年度 連結業績 予想

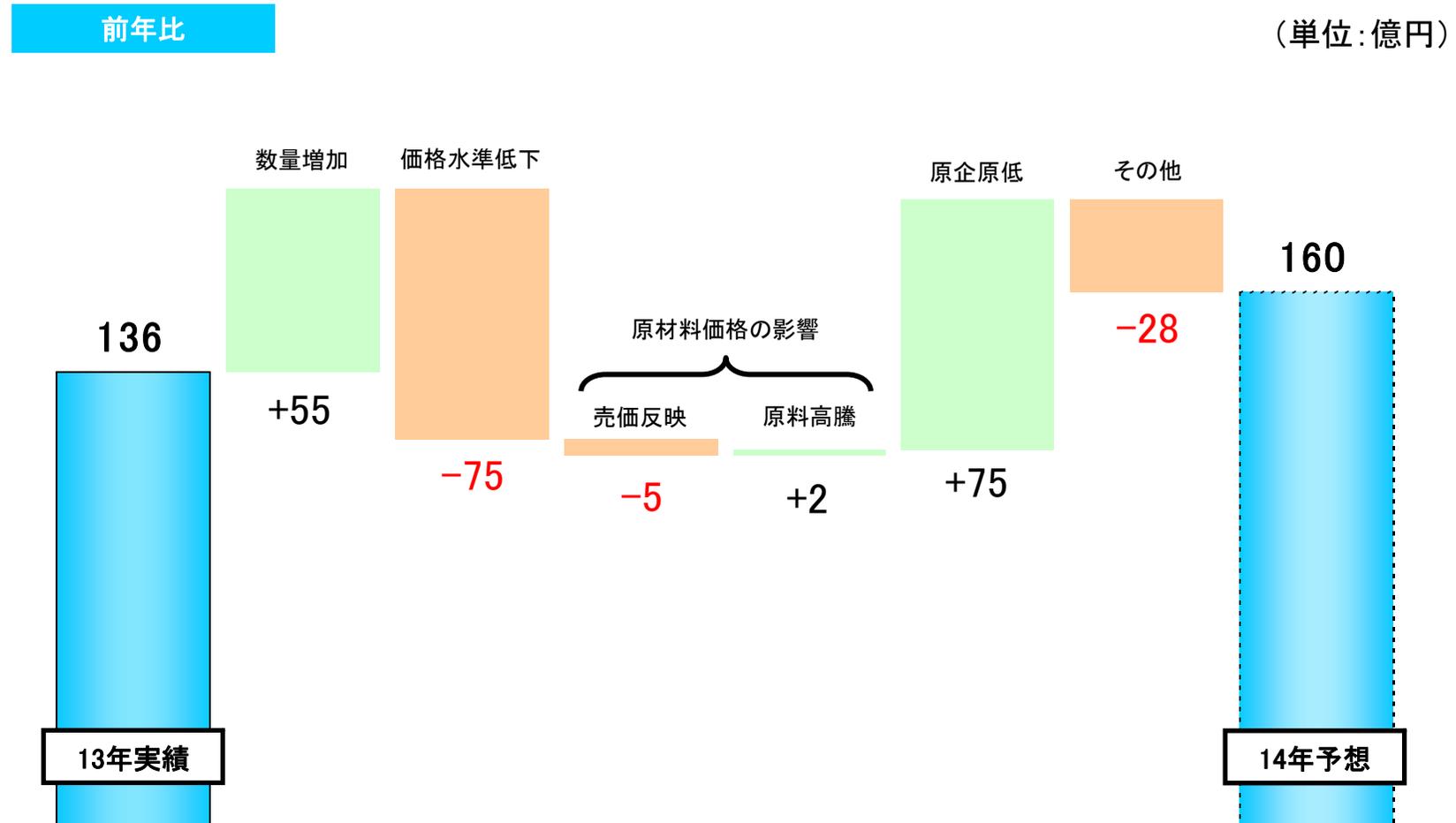
(金額:億円)	13年度	14年度	前年比	
	実績	予想	増減	増減率
既存	2,999	3,180	+181	+6.0%
M&A	692	820	+128	+18.5%
売上高	3,691	4,000	+309	+8.4%
営業利益	3.7% 136	4.0% 160	+24	+17.8%
経常利益	3.0% 110	3.5% 140	+30	+26.8%
特別損益	11	0	-11	-
当期利益	1.1% 41	1.3% 50	+9	+22.7%

為替レート(円/\$)

<100.24>

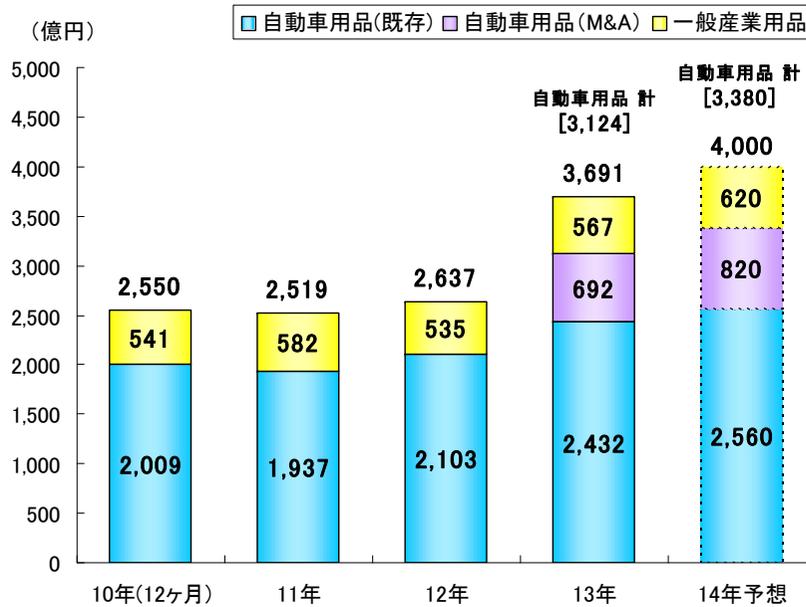
<100.00>

<0.24円高>



※数量増加、価格水準低下、原材料価格の影響、及び原企原低は既存事業のみの数値。

## 売上高



## 14年度セグメント別予想

### 【自動車用品部門】

[前年比:増収増益]

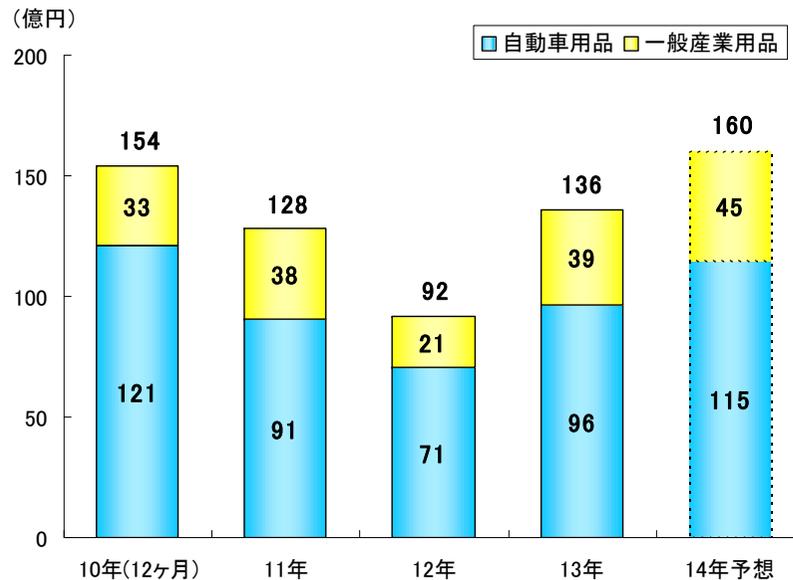
#### 既存事業

- 米国、中国で自動車生産台数が拡大
- 日本は駆け込み需要の反動で減少

#### M&A会社

- M&A会社2社が、13年度の9ヶ月連結から14年度は12ヶ月フル連結

## 営業利益

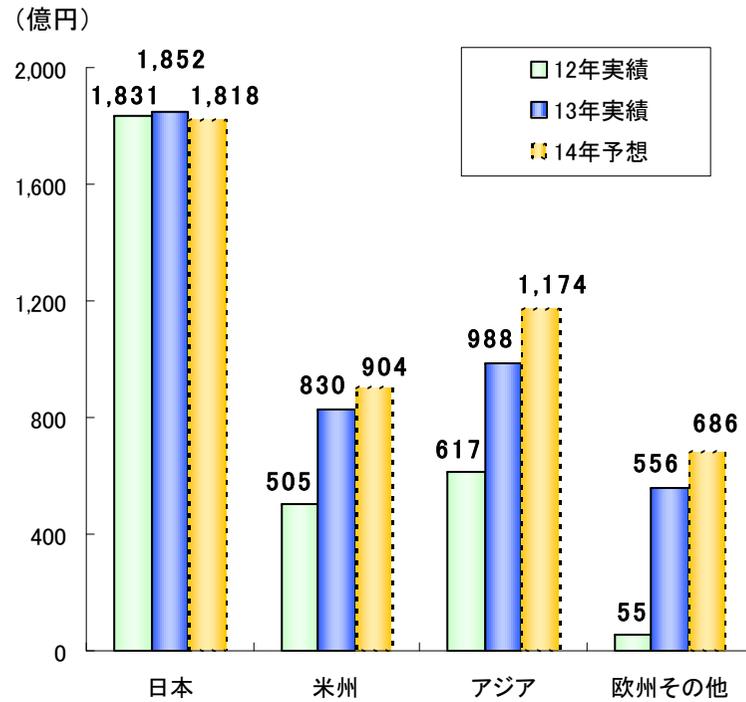


### 【一般産業用品部門】

[前年比:増収増益]

- プリンター向け機能部品は客先需要回復
- 建設・土木機械向け高圧ホースは日本、中国での需要回復継続
- 住宅向け制震デバイスは地震対策ニーズの取り込み

## 売上高

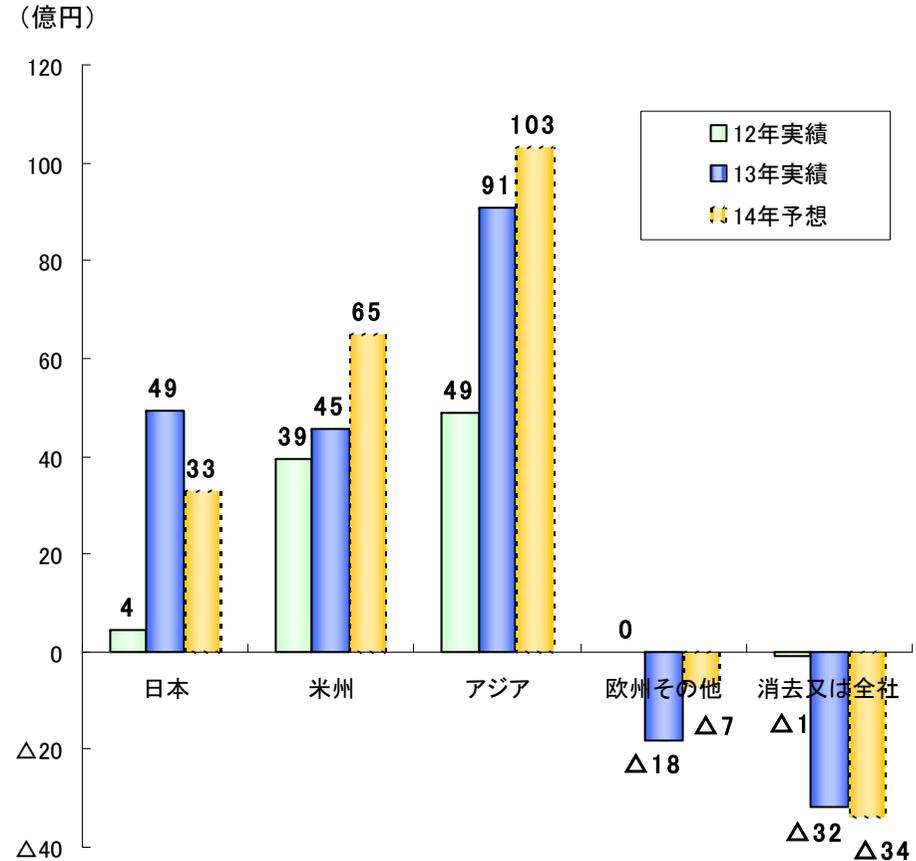


### <売上高構成比>

	日本	米州	アジア	欧州その他
12年実績	61%	17%	21%	2%
13年実績	44%	20%	23%	13%
14年予想	40%	20%	26%	15%

※地域間消去前

## 営業利益



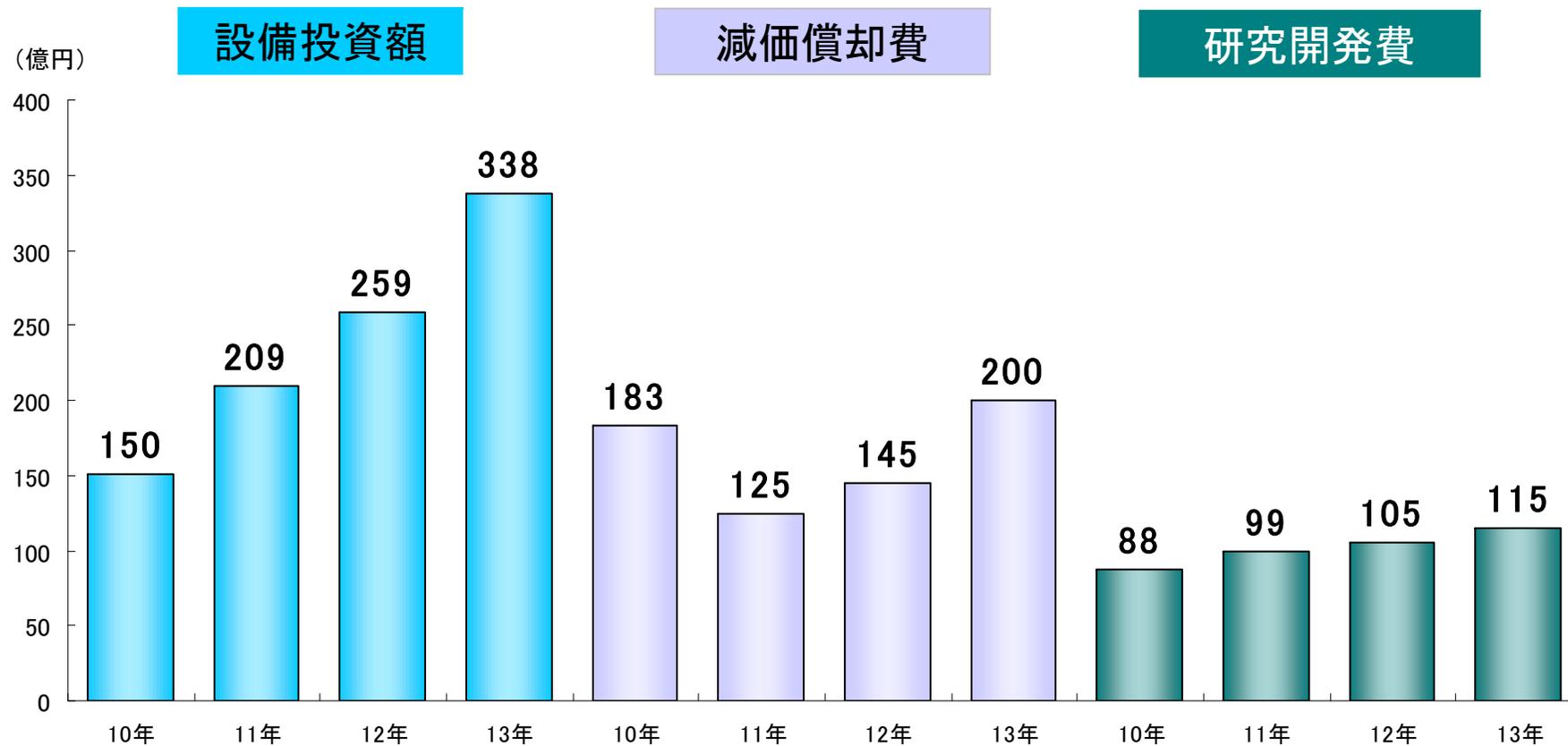
### <営業利益率>

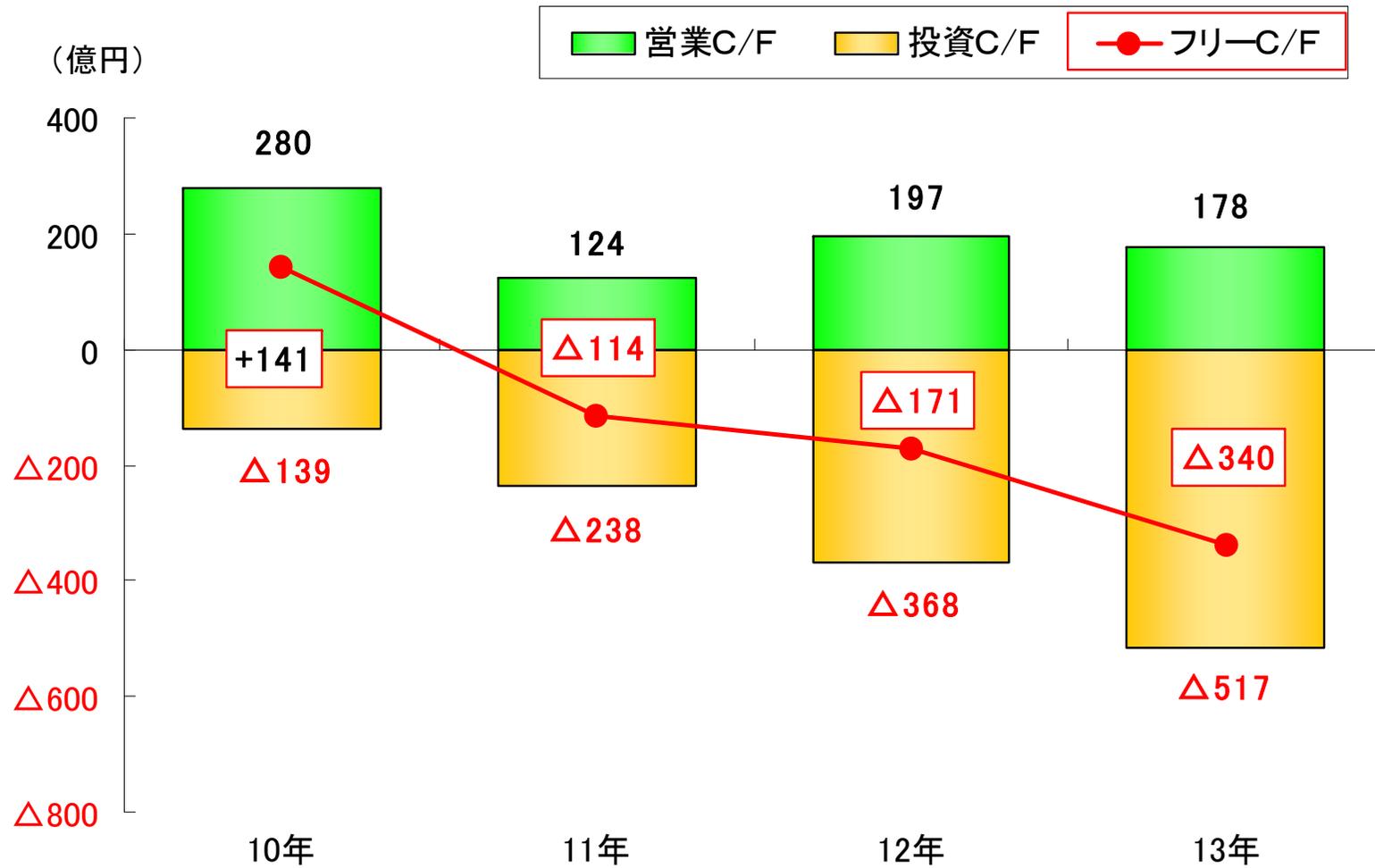
	日本	米州	アジア	欧州その他
12年実績	0.2%	7.8%	7.9%	0.0%
13年実績	2.7%	5.5%	9.2%	△3.3%
14年予想	1.8%	7.2%	8.8%	△1.0%

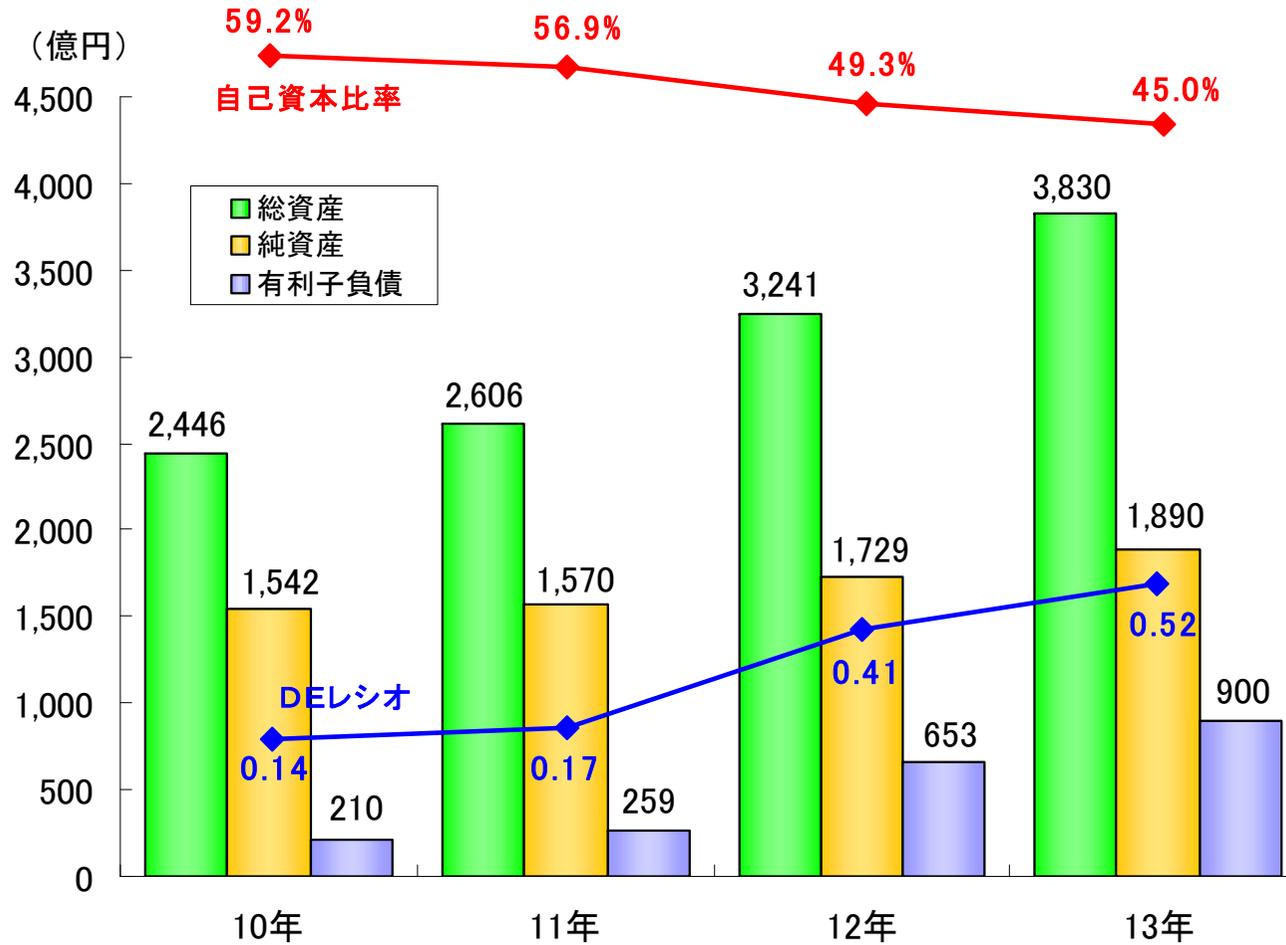
## その他業績データ

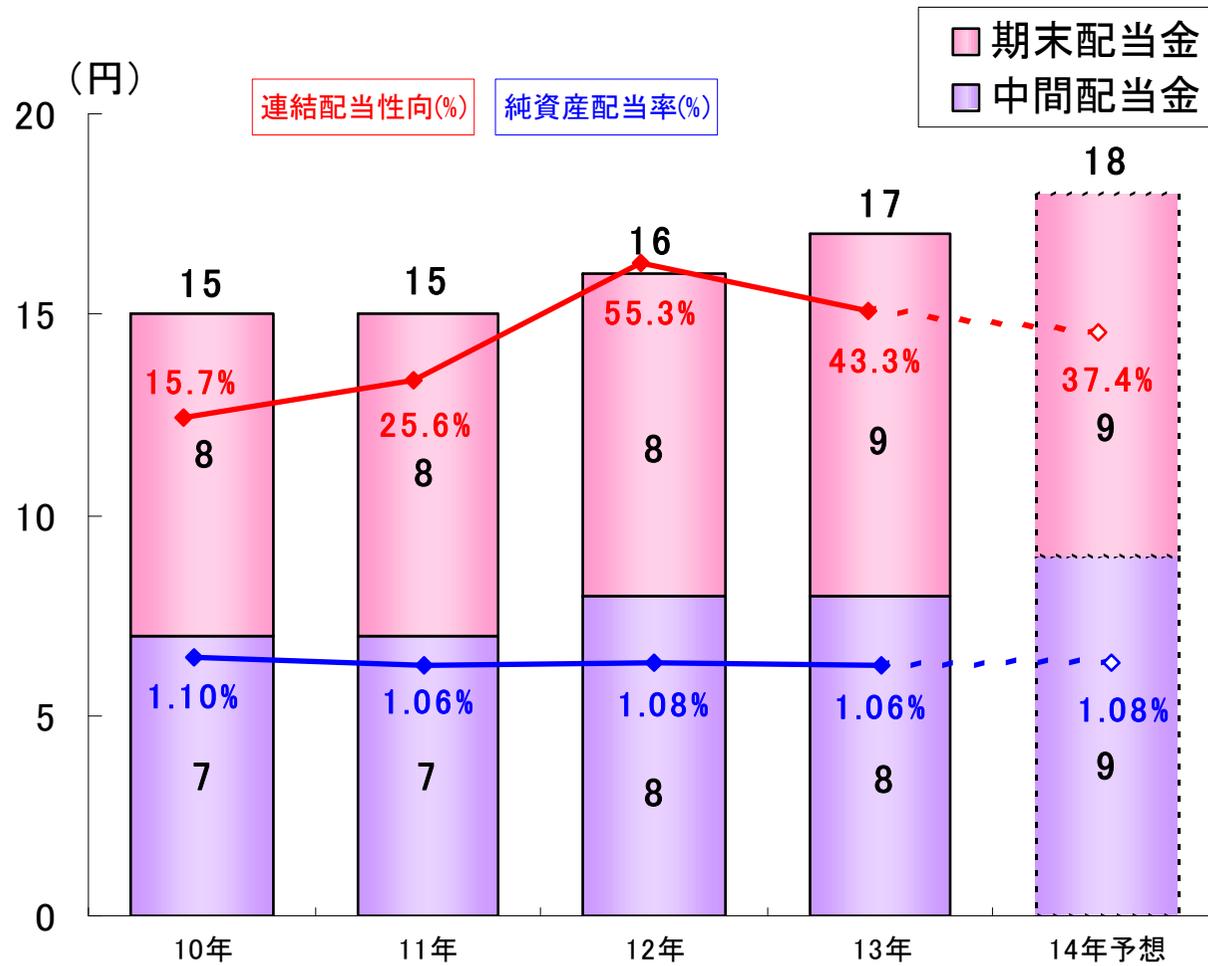
TOKAI RUBBER INDUSTRIES, LTD.











この資料に記載されております売上高及び利益等の予想のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、東海ゴムグループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動、その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした東海ゴムグループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・日本、米州、アジア、欧州その他および東海ゴムグループが事業活動を行っているその他の国における需要変動
- ・米ドル、アジア・欧州諸国などの各通貨の為替相場の変動
- ・天然ゴムや合成ゴムなどのゴム材料や鋼材などの原材料価格の変動
- ・諸外国における予期せぬ法律や規制の変更、政治・経済状況の変化
- ・大規模な災害等の発生による東海ゴムグループ・仕入先・納入先等への影響

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております予想とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、東海ゴムグループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。



以上